

発生日	2011/12/21
発生場所	神奈川県内
一般名称	エスカレーター
事故の概要	被害者が左手でハンドレールをつかんでエスカレーターを利用中に、左手の指がハンドレールと壁の間のデッキボードに置かれた空き瓶との間に挟まれた。(重傷(左手中指末節骨切断及び薬指末節骨開放))
調査の状況	<p>○昇降機等事故調査部会において調査を実施、部会委員による現地調査の他、国土交通省によるヒアリング調査を実施。</p> <p>○事故当時の状況 防犯カメラの映像より確認された内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故が発生する前に、被害者とは別のエスカレーター利用者が、空き瓶が入ったビニール袋をハンドレールと壁の間のデッキボードの上に置いた。 ・約2分後に、被害者がエスカレーターに乗り込み左手でハンドレールをつかんだ。 ・空き瓶が入ったビニール袋が置かれた場所付近で被害者の左手に異常が生じた。 <p>○エスカレーターに関する情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 道路に面した地上階から2階の改札階へ向かう上りエスカレーター。 2) ハンドレールはゴム製であり、鋼板製のガイドレールの上を滑りながら移動している。ガイドレールにはハンドレールの滑りをよくするために、ハンドレールの内部と接触する箇所にナイロン製のカバー(以下「クリップガイド」という。)が取り付けられている。 3) 特定行政庁によると、事故後の調査においてハンドレールに異常はなかった。クリップガイドには被害者が手を挟まれた箇所に7.5cm程度のこすれたような痕跡が確認された。 4) クリップガイドに確認された痕跡は、指もしくは空き瓶が挟まれた際にハンドレールがクリップガイドを圧迫したことにより生じたことと推定される。 <p>○エスカレーターの構造等に異常は認められず、本事故は被害者がハンドレールをつかんでエスカレーターを利用中に、ハンドレールと壁の間のデッキボードに放置された空き瓶とハンドレールとの間に指を挟まれたことによるものと考えられる。</p>
	調査終了